

BLUE RED BLUE

2006 年 11 月 1 日発行  
発行人：徳丸 公義  
発行所：神戸市中央区海岸通 8  
神港ビルヂング 5 階 509  
TEL：078-393-0050  
FAX：078-393-0051  
E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
URL：<http://www.kobekeio.org/>  
編集：堀 友子・八巻 晤郎

～ 10 月例会報告 ～

諫山 一彦 (昭 53 文)

20 日は 8 月に続き、講師を招いての例会だった。出席者は、KKJC の鳥羽ツアーの開催と重なり 10 数名といつもの例会より少なめだったが、講師の非常に興味深い講演で会員の質問が相次ぎ、熱気のもった例会となった。

今回お招きした講師、関西大学経済学部教授：

**浜野 潔氏**(昭和 56 年経済学部卒)は人口論の権威で、昨今社会問題としてクローズアップされている人口減現象を「歴史から見た人口減少社会」と題して講演いただいた。(浜野教授の経歴は BRB10 月号参照)



講演内容の要約は次のとおり。

1. 1990 年代に入って「少子化」ということばが話題になってきた。当初は結婚の「遅れ」= 晩婚化であるとの認識であり、危険感に乏しかった。
2. 2000 年ころから少子化は生涯未婚率を上昇させるとともに、日本だけでなく多くの先進国で共通することがわかってきた。人口減少開始が早まるとともに、そのスピードが予想以上であることがわかる。
3. 少子化対策と人口減少社会への対応が緊急の課題として認識される。
4. その対応を考える上で、人口減少を長期のスパンで見てゆくことが必要。  
(詳細は、浜野教授の論文「歴史から見た人口減少社会」『環』vol.26 (特集「人口問題」再考) pp.134-141 藤原書房、参照)

浜野教授の講演は通常 1 時間～1 時間 30 分のところを 30 分でお願ひしたこともあって、十分語り尽くせないところもあり申し訳なかったが、講演後質問が相次いだこともあって、講演時間以上の質疑応答となった。浜野教授も「学会等ではない

質問があり、非常に新鮮だった」との感想をお寄せいただいた。

当日、浜野教授と慶應高校で同窓の佃順嗣氏(関西不動産三田会事務局世話人)や鎮目雅人氏(神戸大学経済経営研究所教授)も駆けつけられ、旧懇を暖められた。

最後に浦上会員から、最近出版された「勇気がうまれる 心のわすれもの」の披露があり閉会となった。



文ちゃんのなごみコーナー

『お弁当』

ふたを少しずつずらして、お弁当を食べています。ふたを全部あけて食べているくったくの無い人がうらやましくて仕方ありません。ちらっと見ると、そういう人のお弁当は、ハンバーグやセロリやパイナップルなどが、入っていてモダンです。きっと若いお母さんなのでしょう。自分のは、玉子焼ひとつとってもどこか古くさいのです。おしゃれじゃないのです。今日も早く食べてしまおうと思い、あわててかき込んだので、ごはんがのどにつまってしまいました。横の席の人が、背中をたたいてくれます。2 回 3 回、しゃっくりをくり返しなが



ようやくごはんは、食道を通り抜けました。  
苦しくて、涙が少し出ました。  
よくしゃべる、ちょっと太目の横の席の人は、  
笑いながら、  
「おかずは、何」  
と言いながらお弁当のふたを開けてしまいました。  
じゃがいもと牛肉の煮ころがしが、  
あらわになってしまいました。  
次の瞬間、  
じゃがいもは彼女の口に放りこまれていました。  
「おいしいっ。  
あなたのお母さん、料理、上手やねえ」  
四月の青空に、大阪湾の向うが  
はっきり見える新中学一年生の教室です。  
なんだか、勇気がわいてくるのでした。

「心のわすれもの」より  
<http://www.kitanet.com/uragami/>  
(ジュンク堂と海文堂にて販売中です。)

## 会員だより

### 私の戦い (2)

齋藤 光豊 (昭 24 経)

『少年特攻兵との別れ』  
清けき瞳白き面に微笑見せて少年は焼の空に  
征きたり  
少年特攻兵出撃の際我を見つめて兄に似たりと  
遺して散りぬ  
戦場に我らさらばと別れたり生命の別れのさら  
ばと知りつ  
此の丘に肩組み南十字星仰ぎし特攻二番機還ら  
ず  
『敗戦』  
暁の砲壘に流るゝ風を聴く敵来襲の気配を探  
る  
敗戦の報到る弧壘守る我にスコールのなか  
凝然と佇つ  
敗戦の報に棄てたる砲壘の跡朝の陽にしらじら  
と見ゆ  
捕虜とうは如何なる扱い受くるやと兵は問えど  
も我黙すのみ  
英濠兵昂ぶり銃剣突きつけぬ捕虜たる我ら立竦  
みたり  
躊躇うも若き英国陸軍中尉捕虜我の贈る太刀を  
佩きたり  
『捕虜の島』  
捕虜たりし南の島にじんじんと音立つ如き月光  
を浴ぶ

テニスンの詩を誦しつゝ捕虜我は満月の浜に  
塩を作りぬ

敗戦に自ら果てし曹長が彫りしゴムの木の「オ  
カアサンバンザイ」

流れ木を集めて戦友を焼きし朝疾く焼けてくれ  
と泣きつゝ噓せぬ

疲れ果て作業より帰る捕虜我ら英軍幕舎鳴るサ  
イレントナイト

### 今年もまた留学生

藤井 文明 (昭 39 工)

又引き受けてしまいました。何を？留学生のホー  
ムステイです。神戸市にある大学へ海外の大学か  
ら留学する学生を家で預かることをもう 10 年も続  
けていますが、預かる以上長期の旅行などが難  
しくなり生活上での制約ができるので、もうお断  
りしようとして毎年考えていました。しかし引き受け  
手が少ないのしょう是非にと依頼され、今年も  
21 歳の米国人女性の留学生を預かることになりま  
した。

今年もチャーミングな子で良かったとうれしく  
思ったのですが大きな問題がありました。日本食  
がご飯以外全く食べられないのです。味噌汁、漬  
物、野菜や芋類の煮物はもちろん魚は鮭以外全て  
駄目、肉は脂のところを 1 ミリでも切り離して赤  
身だけをより分けて食べるという徹底ぶりで、お  
かげで小生夫婦の食事も全く以前と変わってしま  
いました。いわゆる「さし」が入った和牛肉でな  
く、赤身だけの米国産やオーストラリア産牛肉で  
ないと駄目なのですが、今は近くのスーパーでは  
和牛肉しか売っていません。味噌汁はもうしばら  
く飲んでいませんし、朝食は毎日パン食になって  
しまっています。私達の間で見るとひどい偏食で  
しょうが、彼女は極めて健康かつ立派な体格で、  
170cmはある背丈と120cmにもならんとするヒップ  
で、家の中が急に狭くなった気がするほどです。

たまに家内が外出して小生が夕食を用意する羽  
目になると、正に考え込んでしまいますが、鶏な  
ら食べられるとのことで鶏肉のソテーを作ったら  
お父さんは料理が上手とおだて半分でしょうが褒  
めてくれました。ジャガイモは食べられるので茹  
でて塩味のものを食べてくれてほっとしました。  
サラダはきゅうりとレタスのみで、人参、たまね  
ぎは全く受け付けません。それでも赤や黄のピー  
マンは食べるので助かります。家内がハンバー  
グステーキを作る時にはたまねぎを全部すりおろ  
して形が見えなくしてうまくだましていますが、お  
いしいと言って食べてくれますから、味ではなく  
見た目の食感で好き嫌いを決めているようです。

預かった当初はひどいホームシックになり、ク

クリスマスに一時帰国したらもう日本へは帰ってこないと決めていたようですが、最近はそのことはすっかり忘れて携帯電話を手に入れてクラスメートと連絡し合い、新品の自転車を買って乗り回しています。

今年の夏に以前預かった子（と言ってももう40歳過ぎた人もいますが）3人の家を訪ねてイギリス、オランダへの旅をしましたが、彼女達が本当に再会を喜んでくれて彼女達の自宅で寝食を共にすると、本当に私達の自宅で一緒に暮らして良かったと思います。彼女達が学業を終えて帰国する際いつも言ってあげる言葉は、君は私達の娘だからいつでもここへ来て一緒にご飯を食べ、いつまでも泊まっていったいいのですよと。

## 歴史の終わり

島田 博充（昭48商）

アングロサクソン系のリベラルな民主主義とは、生命の権利すなわち自己保存の権利とか、財産獲得の権利として一般には理解されている幸福追求の権利であるが、ドイツ観念論の系統にあっては、それだけでは十分でなく、リベラルな社会とはさらに人間的な要素、すなわち其々がお互いに認め合うという、認知の要素がなければならないとしている。

人間の歴史は、決して生命の維持や財産追及だけという面から理解されるのではなくて、他者に認められたいという願望の要素を考慮に入れなければならないというのがヘーゲルなどの考え方である。これは、どう考えてもアングロサクソン系の考え方より、もう一段高い次元を付け加えたものである。すなわち人間の尊厳とか他者と対等なものとして認められたいという欲求があればこそ、フランシス・フクヤマ氏の指摘のようにアメリカの独立もありえたのである。しかし、現代に於いては多元的な社会問題が出現しテロなどが頻繁に起こるようになった。戦後アメリカの哲学者ロールズが理想として描いたのは、公正としての正義に基づき助け合い、重なり合う合意で基本理念を共有し、思想、信条の違いを超えて、差別をなくし共存する世界であった。我々の身近においても、このような理念を持って接すれば倶楽部も益々発展することでしょう。

（フランシス・フクヤマより引用）

『社中の心』今月は筆者の都合により休ませていただきました。次号に最終回を掲載します。

## KKJC

### 三色旗パワー炸裂！神戸ジャズ・ストリート

垣屋 高文（昭39経）

10月7日（土）快晴の屋外ジャズ日和、KKJCは神戸ジャズストリートで華々しくデビューした。

午前10時半、新調の三色旗帽子を被ったKKJCのメンバーが続々と集合、その数10数名。皆で被れば怖くないと、慶應パワー炸裂。

11時、ディキシー・マーチング・バンドが北野坂を上りながらディキシーを演奏、我々はその後についてウキウキで行進。何かニュー・オリンズにいる感じ。



西村珈琲・北野坂店で昼食。ビール・ワインを飲みながら、ワイワイ、ガヤガヤ盛り上がり最高。

13時から17時まで、色々な店で繰り広げられる、ジャズ・ライブを各自好みを探して聴きに行く。中でも理子ちゃんお目当ての人が多く、理子ちゃんの会場は三色旗帽子が目立った。

17時にジャズストリートが終わると、我々はソネに集合、ピアノの横の特等席に10数名陣取る。

東京から来たプレーヤーも遊びに来て、ジャムセッションも最高に白熱。

途中、堀さんのご主人も参加、会は益々盛り上がった。ウィスキー2本を空けたのに、皆けろっとしていた。皆で楽しく飲めば強くなる・・・でした。

### 伊勢志摩ジャズ・ゴルフツアー

前田 剛資（昭39工）

今回のツアーはKKK（慶應軽音楽鑑賞会）OBがジャズを楽しむ集まりに、数年前から我々がKKJCが加わり、毎年蓼科高原・姫木平で開催しているイベントで、今年は場所を変え10月20～22日、エクシブ鳥羽に集まりジャズとゴルフ、観光を楽しんできました。メインイベントのジャズライブには、毎年参加の慶應が誇るジャズミュージシャンの鍋島直昶さん（Vib）、小川理子さん（P、V o）に4人の関西で活躍のプロミュージシャン、さらにOBのトランペット、ヴィブラフォン、ドラム、ヴォーカル加わり、2夜にわたるすばらしい熱演を心ゆくまで楽しむことができました。また、ライブの後はロッジに集まり、ミュージシャンを交えた二次会に移り、飲みきれないほどのお酒とおつまみが用意された中、夜遅くまで交流を深めることができました。殊に鍋島大先輩は演



は、毎年参加の慶應が誇るジャズミュージシャンの鍋島直昶さん（Vib）、小川理子さん（P、V o）に4人の関西で活躍のプロミュージシャン、さらにOBのトランペット、ヴィブラフォン、ドラム、ヴォーカル加わり、2夜にわたるすばらしい熱演を心ゆくまで楽しむことができました。また、ライブの後はロッジに集まり、ミュージシャンを交えた二次会に移り、飲みきれないほどのお酒とおつまみが用意された中、夜遅くまで交流を深めることができました。殊に鍋島大先輩は演

奏にゴルフと 81 歳とは思えない大活躍をされ、この二次会では若き日の秘話もご披露され大いに盛り上がりました。

20 日はゴルフと観光に分かれ、ゴルフ組は 2 週間後にミズノクラシックが開催される「近鉄賢島 CC」でプレイし、観光組は伊勢神宮参拝、夫婦岩、鳥羽水族館を巡り、さわやかな秋晴れの日を満喫しました。幹事の皆さん、大変お世話になりました。また来年が楽しみです。

## 囲碁同好会

菊田 義正 (昭 42 商)

9 月 30 日 (土) 一泊し、有馬温泉に於いて囲碁懇親会が開催されました。

メンバーは神戸慶應倶楽部囲碁同好会、宝塚慶應倶楽部囲碁同好会、慶應理工学部囲碁同好会、及び慶應大学囲碁部大阪 OB 会の総勢 10 名。

往年の囲碁部主将等の参加もあり、質の高い充実した碁会になりました。

又、会場の近くにある紅葉で有名な瑞宝寺の庭園で秀吉が打ったという石の碁盤を見て、碁の歴史の一端を認識。

酒料理と温泉と囲碁の 3 つのラブを堪能し、幸せなひと時を過ごしました。

なお、宴会ではすっかり盛り上がり、上記 4 つの会を連合した会として「関西慶應囲碁同好会」

《会長山本興治氏(昭 38 経)》の発足が正式に決まりました。今後、他の団体との交流試合を計画しております。



皆さんの周りでそんな囲碁の仲間がいれば是非ご紹介ください!

次回、11 月 10 日(金)は「水戸夕香里 3 段プロ」をお招きし特別例会を行います。

## ゴルフ同好会

ジョイントゴルフコンペのレポート

新見 みつ子 (平 8 文)

10 月 13 日(金)芦屋カンツリー倶楽部において、神戸慶應倶楽部と関西婦人三田会、そして双方にご縁のあるゴルフ好きが参集して、慶應ジョイントゴルフコンペと銘打った懇親ゴルフコンペが開催された。当日は申し分のない爽やかな秋空の下、お互いに挨拶やら情報交換をしながら 5 組 20 名が、

アップダウンのあるコースに挑戦した。芝目のきいた小さなグリーンに悲喜こもごもであったが、皆、無事にホールアウトした。



プレー後の懇親会での成績発表では全員に豪華賞品(?)が用意されていた。ダブルペリアでのコンペ優勝者は、神戸慶應倶楽部の田嶋紀雄さん ネット、グロスともトップでお見事!田嶋さんおめでとうございます。2 位は山上高弘さん、3 位は杉本正昭さんでした。ちなみにレポートしている私はというと、OB とバンカーでの大たたきで自滅、さすがにヘコんでいますが、当倶楽部でのラウンドは初体験で楽しい一日でもありました。

幹事の皆様に感謝申し上げるとともに、ご参加の皆様お疲れ様でした。

## 会員の輪

西宮に住んでジャズを聴く

川口 裕 (昭 38 法)

西宮に住んで 26 年になります。その前が千里桃山台に 6 年いましたから、関西に住み着いて、32 年になったわけです。もっとも昭和 64 年(平成元年)から平成 5 年までの 5 年間は東京に舞い戻っていましたが、実質 27 年間の関西住まいということになります。

私は、東京生まれの東京育ち、家内も、もの心ついてからの東京育ちです。その二人が人生の大半を関西で過ごすことになるのですから、わからないものです。

最初に住んだ千里桃山台は、社宅として提供された所でしたから、否応なく入居しました。万博直後のニュータウンは、とても清潔なおしゃれな町で満足していました。

その後の西宮は、なんの縁もゆかりもない所でしたが、たまたまひやかし気味に応募したマンションの、結構倍率の高かった部屋が抽選で当たってしまったのです。当たってみたら、なんとなく手放し難くなって、あわてて資金集めをして購入しました。

仮住まいの気持ちでいたのに、こんなに永く住むようになるとは、考えてもいませんでした。

しかし、今では、この阪神間の住環境がすっかり気に入っていて、日本一すばらしい所だと思っているわけです。

海にも山にも近く、緑も豊富で、かつ都会のおし

やれな感覚も味わえるような所は、他にはないでしょう。東京の連中には、瀬戸内海国立公園の中に住んでいる、と言っています。

とりわけ、西宮は、ジャズ好きの私には、ジャズのライブハウスが多い大阪と神戸の中間にあって、どちらにもすぐ行けるという最高の立地条件なのです。

ここで、私とジャズとの出会いみたいなものにも触れてみましょう。私の父は、大のクラシック音楽好きで、レコードは、SP時代のものも含めて膨大なものでした。私もその影響で、中学生の頃までは、親父のコレクションの中から、好みのレコードを引っ張り出して聴いていました。ところが、すぐ近くに住む叔父（父の弟、塾出身）はジャズファンで、これまたかなりのレコードを収集しており、聴くともなくその音楽は耳に入ってきました。中でも興味をひいたのが、MJQ（モダン・ジャズ・クアルテット）であり、デイブ・ブルーベック・クアルテットでした。いずれも、クラシックの香をただよわせて、とても新鮮に感じたものでした。その後、次第にジャズの本格派と言われるものにのめり込んでいくことになります。

塾に入ってすぐ、同好の志を求めて、KKK（慶應軽音楽鑑賞会）に入会します。とてもユニークな人達が集まっていました。決まった活動としては、信濃町駅前の「珈琲園」なる喫茶店に、ジャズ評論家を招いて、レコードを聴くというものでした。KKKの会長は医学部の牧田清志先生でしたが、牧田先生は、牧 芳雄のペンネームでジャズ評論家としても著名でした。油井正一、いソノテルオの両氏は塾出身の評論家でよくお世話になりましたが、早稲田出身の新進評論家だった大橋巨泉氏も話が面白いので、よく来てもらいました。今では、考えられないことですね。

このKKKは、残念ながら今は廃部になってしまいましたが、OB、OGのお付き合いはずっと続いており、先頃KKJCのご協力を得て行われた鳥羽ジャズツアーもその一環です。

西宮に住んでジャズを聴く。新しい友人も増えて、ミュージシャンにも鍋島直昶先輩をはじめとして沢山の知り合いができて、ますますジャズが楽しくなっています。

## イーゼル会

### 有馬・鼓ヶ滝を描く

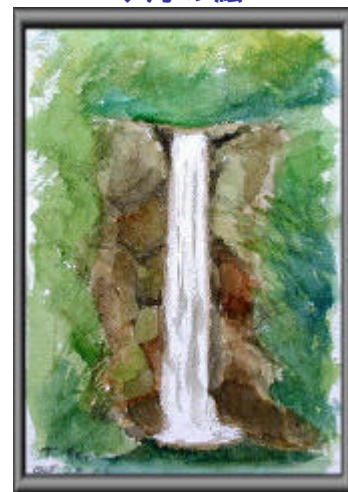
八巻 晤郎（昭40経）

10月28日（土）9時30分、梅地先生を含め14名が有馬温泉の鱒池駐車場に集合し少し上流にある鼓ヶ滝に向かった。六甲の清流がとうとうと流れ落ちるこの滝は緑に囲まれて森林浴にも最適として有馬温泉のおすすめスポットにもなっているが、時間的に早かったので滝周辺には人影も少なくそれぞれが思い思いの場所を確保することができ早速写生にとりかかった。

1時間ほどすると観光客や親子連れの数が増え、のぞき込んでから滝に向かう会話の中に絵の批評が入るようになる。概して好評だ。描く手にも力が入ってくる。彩色を始めるがみんな画帳の真ん中の滝は白いまま。周りの樹木や岩盤、石、堰堤の色塗りに終始してる間にお昼となる。日だまりのテーブルに集まり淡路屋特製の三段重を賞味する。滝の落ちる様を描くのは難しいとはよく言われるが、みんな頭の中に白い滝があるせいかもしれない。そのような馬鹿話もせず粛々として昼食を済ませ午後の部へ。

観光客の足も途絶えた3時過ぎに先生の講評が始まった。滝は一気に流れ落ちているように描くこと、滝壺の広がりや水の色など留意点が素直に頭の中にはいる。これはきっと午前中から森林浴をしていたせいだろう。これがいつまで頭の中にとどまっているのか、それが問題やなどと思いつつながら滝をあとにした今回の写生会であった。

### 今月の絵



（五代 友和）

～ 11 月例会のお知らせ ～

**11 月 17 日 (金) 18:30 より 倶楽部ルーム**

(会費: 2,000 円)

例会終了後に役員会を行いますので、評議員、幹事の皆さまはご出席をお願いします。

**クリスマスパーティ & オークション plus  
ミニコンサートのご案内**

日時: **12 月 9 日 (土) 18:30 ~ 21:00**

(受付開始 18:00)

会場: 神戸ポートピアホテル

本館地下 1 F 「布引の間」

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-10-1

TEL: 078-302-1111 (代表)

<http://www.portopia.co.jp/index.html>

会費: 男性: 10,000 円

女性・家族 (高校生以上): 8,000 円

小・中学生: 5,000 円

小学生未満: 無料

恒例の冬の家族例会は、ご家族お揃いで、少し早いクリスマス気分をお楽しみいただきます。お待ちかねのオークション、フルーツ & ピアノによるミニコンサートもございます。

倶楽部財源確保のため、お一人一品以上のオークション出品と、同時にお買い上げもよろしく願います。

出欠の締め切り: 11 月 30 日 (木)

当日欠席される方、また大きい品物や重い物を出品される方は、

前日までに下記の宛先へお送り下さい。

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-10-1

神戸ポートピアホテル営業本部 本社営業室

小室 貴史様宛 (神戸慶應倶楽部気付と添書き願います)

TEL: 078 - 302-1123 (直通)

FAX: 078 - 303-5248

なお、勝手ながら送料は各自ご負担下さいますようお願いいたします。

演奏者紹介

フルート: 吉岡 美恵子 Mieko Yoshioka  
神戸大学教育学部卒業、同大学院終了。故 J.P. ランパルをはじめ、海外の著名なフルーティスト達と協演。全曲協奏曲によるリサイタルや、自ら編曲する等意欲的なプログラムのリサイタルを数多く開催する一方、オーケストラとの協演や室内楽のコンサートに出演。バロックアンサンブル < トリオ オーキス > 主宰。海外での演奏も行っている。相愛大学講師、日本フルート協会理事。

<http://www003.upp.so-net.ne.jp/yoshioka-flute/>

ピアノ: 平山 朋子 Tomoko Hirayama

大阪音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。クラシックピアノを竹内美知子、清水淳彦氏に師事。またジャズピアノを故市川修 板橋文夫各氏に師事。幼少より作・編曲を手掛け 9 歳で京都市教育委員会主催作曲コンクールに入賞。大学在学中には朝日放送主催フレッシュサウンズコンテストに於て第一位を獲得。サンフランシスコ、ロシアンリバージャズフェスティバルに出演した他クラシック、ポピュラー・ジャズ両面で活動を展開。編曲家としても活躍中。2005 年自己の編曲による懐かしのフォークソング名曲 CD アルバム「そよ風のたより」を発表。

～ 今後の行事予定 ～

2007 年 1 月 5 日 (金) 賀詞交歓会 倶楽部ルーム

1 月 10 日 (水) 福澤先生誕生記念会 大阪

1 月 12 日 (金) 関西不動産三田会合同例会 西村屋

2 月 14 日 (水) 例会「にがり酒を楽しむ会」 場所未定

3 月 14 日 (水) 例会 東天閣

詳細につきましては、BRB・メールマガジン等でお知らせいたしますので、毎月ご確認ください。

同好会の日程につきましては、各世話人にお問い合わせ下さい。

～ 事務局よりお願い ～

例会等にご出席の会員さまはお食事等の準備の都合がありますので、**事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂くことがございますのでご注意ください。**

2007 年度会員名簿は 11 月上旬完成予定です。今年度までの会費納入会員様に発送いたします。会費未納の方は至急お振込お願いいたします。

皆様の投稿をお待ちしています。「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。

堀 友子 [tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp](mailto:tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp)

八巻 晤郎 [yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp](mailto:yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp)

編集後記

過ごしやすい爽やかな季節、今月も会員諸兄諸姉の活躍ぶりは超過密スケジュールのようでも、お陰さまで誌面も満載になりました。かくいう私目が一番楽しませて貰ったところでしょうか。欲を言えば、もっと若い会員が参加してくれたら、さらに若き血踊るのですが・・・。最近感動したこと一つ。一つはゴルフ場のチョットとしたラフの段差に躓いて転んだけど骨折しなかつたこと。もう一つは鳥羽水族館のアシカショーを見て童心に帰れたこと。ん (ほ)